

昭和 16 年 11 月 19 日 日向灘地震の熊本縣下の調査報告

熊 本 測 候 所

熊本縣下に於ける震度は概ね中震程度の所が多く、人吉町及び緑川村では異常的に地震動甚しく強震程度で別表の如く死者及び倒潰家屋を生じた。熊本市内の震度は中震で、振動時間は約 2 分で電話や電燈線の一部故障があつた。特殊現象としては温泉人吉に於ては湧出量が増加し、温泉温度は幾分上昇した様に認められる。又多良木町では井水濁り宮地町にても突井戸の水が多量の砂を含んだ所が數ヶ所あつた。次に被害状況を列挙する。

(1) 人及び家屋の被害

被 害 地 名	死 者	負 傷 者	住 潰 家 屋		半 潰 家 屋	
			住 家	非 住 家	住 家	非 住 家
熊 本 市			1	1		
川 口 村				1		
奥 古 閑 村				1		
緑 川 村	1	2	1	3		
人 吉 町	1	5	6	5	11	10
合 計	2	7	8	11	11	10

(2) 交通、通信の被害

鐵道 三角線宇土驛を距る 2600 米より 2700 米に至る 100 米の間、線路が少しく盛上つたが列車の運轉には支障がなかつた。

電話 一部故障があつたが概ね同日中に復舊した。

其の他電信や道路には被害はなかつた。

(3) 電氣の被害

熊本市及び人吉町等では電燈は故障のため暫時消燈したが概ね同日中に復舊した。

瓦斯には被害はなかつた。

人吉町の被害

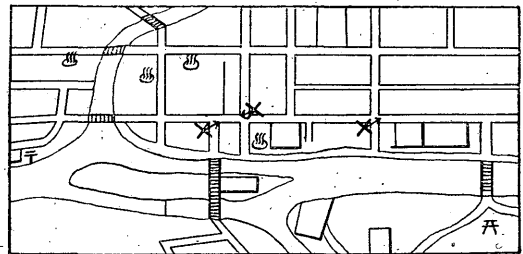
人吉は異常的に被害多きを以つて此處に特記する。人吉町内では倒潰家屋を生じた割に全般的には輕微であつた。町外の村落では殆ど無被害に近く家屋煙突等の構造の弱いものに限定されて居る

様である。人吉警察署の被害調査を次に記す。

1. 死者 1 名 (小兒)
2. 負傷者 5 名
3. 倒潰家屋 (全潰) 11 棟 (住家 6, 非住家 5) (圖参照)
4. 商店の飾窓 (硝子) 全破 1,
5. 傾斜建物 67 棟 (但し傾度 1 寸以上のものを含む)
6. 煙突 (練瓦造) 全潰 4, 半潰 6, (但し自家用小煙突の被害僅少なものは除く)
7. 温泉の湧出量並びに溫度變化

場所 (球磨郡)	湧出量	溫度變化
西瀬村大字薩摩瀬 58 番地	2 割程度増	なし
〃 〃 17 番地	2 割程度増	なし
〃 〃 不詳	稍増	稍上昇
中原村大字林 2503 番地	なし	稍上昇の感あり
〃 〃 2462 番地	2 割に増加	なし
〃 〃 2632 番地	稍増	1 度位上昇
〃 〃 2125 番地	5 割程度増	2 度位上昇
〃 〃 不詳	2 割程度増	2 度位上昇

人吉の人家倒潰箇所及び方面



人吉町に於ける家屋の倒潰は勿論地震動の激烈であつた事に基因するが其の構造に就いて注意すべき點がある、即ち倒潰家屋の残ど全部は商店向きに改造するに際して階下の柱を切抜いたものであつた。又發光現象を見たと言ふ者もあるが當初雷雨があつた點から見て不確實と思はれる。